

国・地方デジタル共通基盤推進連絡協議会 ワーキングチーム（第3回）

2025.4.23

愛知県一宮市総務部長 伊藤 正樹



○全国市長会 国・地方デジタル共通基盤に関する小委員会意見

「令和6年度共通化の対象候補に係る共通化推進方針案」につきまして、丁寧な議論や検討をいただいていることに感謝を申し上げます。

自治体にとっては、業務フロー等の実態を把握したうえで、現場の理解を得ながら制度・業務・システムを一体的に検討していくこと、共通化の今後の見通しを明確にすることが重要であると認識しています。

今般の共通化推進方針案については異議はありませんが、共通化の取組を進めるうえで、配意いただきたいことを3点ほど申し上げます。

1. 自治体においては、システム標準化に鋭意取り組んでいるところであるが、全国で一斉に移行作業が実施されていることで、多くの自治体関連システム事業者が、リソース不足に陥っているとの指摘もあります。

今後の共通化の具体化に向けたスケジュールについては、既に着手しているシステム標準化への対応を阻害することなく、円滑な対応が可能となるよう、お願いします。

2. 自治体による共通化への移行に際し負担が生じる場合、特に共通化に先んじてシステムを導入している自治体の取組が無駄になることがないように、十分な財政支援措置をお願いします。
3. 共通化の取組が行政の効率化はもとより、住民への利便性向上に資するものとして着実かつ円滑に進められるよう、引き続き連携を図ってください。

○全国市長会より国・地方デジタル共通基盤に関する小委員会幹事市5市に調査した結果、5市すべてでシステム運用経費は増大（最大3.7倍）する見込みです。

○一宮市の試算

システム保守：約2億8千万円 → 約6億1千万円（+3億3千万円）

ハードウェア：約4500万円 → 約1億6千万円（+1億1500万円）

ネットワーク：約1千万円皆増

